

製紙メーカーに対する調査結果の概要について

1. 製紙メーカーからの回答について

今般、環境省へ回答のあった企業は、日本製紙(株)、王子製紙(株)、大王製紙(株)、三菱製紙(株)、北越製紙(株)、紀州製紙(株)、リンテック(株)、王子特殊紙(株)、三島製紙(株)及び(特種東海ホールディングス=東海パルプ(株)、特種製紙(株))の10社であり、印刷用紙・コピー用紙及び再生紙はがきに係る調査結果は別紙1のとおりとなる。

2. 調査結果について

今回、製紙連合会からの報告を受けた内容については、環境省が求めている全容解明の徹底には至っておらず、次の点で不十分であると言わざるを得ない。

また、今回の報告を受け、更に追加調査依頼を発出することを検討したい。

- ①刷情報用紙として供給されている年間約 400 万 t に達する再生紙全体に関する調査報告とはなっていない。
- ②対象期間が昨年 10 月～12 月までが中心であり、全容とは到底言えない。
- ③原因究明が品質保持を優先させたためと曖昧であり、徹底した原因究明がはかられていない

環境省へ回答のあった企業報告の概要
(印刷用紙・コピー用紙)

No.	社名	回答日時	G購入法 ¹⁾				G購入法以外 ²⁾				備考	
			PPC用紙(100%)		印刷用紙(70%)		PPC用紙		印刷用紙			
1	日本製紙	H20.1.15	×	59%	○	70%	×	70・100% →11%	×	60%→20%	特抄品	
2	王子製紙	H20.1.16	○	100%	○	70%	○		×	50%→5%	塗工紙	4月～9月
			○	100%	—	—	○		—	50%→10%	中質紙	
			×	45～100%	—	—	×	70% →45～100%	—	—		
3	北越製紙	H20.1.16	—	—	×	19%	×	30%→11%	×	60%→15%	その他用紙	
4	三菱製紙	H20.1.16	×	50%	×	8% (特抄品)	○		×	70%→11%	上質紙	
5	大王製紙	H20.1.16	×	41%	×	40%	×	100%→7%	×	ユーザー設定値との乖離製品		
6	特種東海 ホールディングス	H20.1.21	○	100%	×	14%	○		×	15～100% →14%		
7	紀州製紙	H20.1.22	×	38%	×	37%	×	70%→22%	×	50～100% →25%		
8	リンテック	H20.1.23	—	—	—	—	—	—	—	—		包装用紙 公称70%→実績26% 粘着メモ 公称100%→実績8%
9	王子特殊紙	H20.1.22	—	—	×	10%	—	—	○			
10	三島製紙	H20.1.22	—	100%	—	70%	○	—	×	30～70% →1～5%	上級紙	

備考) 調査期間は、H19. 10～12月である。

- 1) 上質紙、中質紙、下級紙、塗工紙の区分はあるが、公称値との乖離が最大のものを明記した
- 2) 特抄紙等の配合率100%以外のPPC用紙、及び70%以外の印刷用紙における公称値との乖離

再生紙はがきの導入時期及び古紙配合率の状況

商品名	再生紙導入時期	郵便事業(株) 指定古紙配合率	実際の古紙配合率					
			配合率	日本製紙	北越製紙	三菱製紙	王子製紙	大王製紙
寄附金付広告付葉書	平成4年度から	40%	1%~6%	1~6%	—	—	—	—
広告付郵便葉書	平成5年度から	40%	1%~5%	1~5%	—	—	—	—
かもめーる	平成5年度から	40%	1%~20%	1~5%	1~5%	2.3~20%	—	—
絵入り葉書	平成7年度から	40%	0%	—	—	—	0%	—
年賀葉書	平成7年度から	40%	0%~20.1%	1%	1~5%	2.3~20%	0~20.1%	0%
通常郵便葉書	平成15年度から	40%	0%~5%	1%	1~5%	—	—	0%
往復郵便葉書	平成15年度から	40%	1%~5%	—	1~5%	—	—	—